

受付番号： 2017-1-629

課題名：当院総合周産期母子医療センター臨床心理士における精神支援の取り組み

### 1. 研究の対象

2016年4月～2017年3月に当院総合周産期母子医療センターに通院、入院していた患者の中で、臨床心理士が介入を行った方

### 2. 研究期間

2017年10月（倫理委員会承認後）～2021年3月

### 3. 研究目的

総合周産期母子医療センターでは、ハイリスク症例と呼ばれる妊産婦を多数受け入れている。リスクが大きいほど患者にかかる精神的負担は大きくなり、入院中や外来通院中の患者の精神支援が求められている。そこで、当センターでは臨床心理士2名が常駐し、入院患者や外来患者の精神支援に当たっている。しかし、当センターの臨床心理士による精神支援の実際について詳細な検討を行うことはこれまで行われてこなかった。そこで、本研究では2016年度総合周産期母子医療センターに入院、あるいは外来通院となった患者で、臨床心理士が介入を行った患者の総数やその内訳について分析を行うことで、当センターにおける臨床心理士の精神的支援の傾向や特色を明らかにする。加えて、症状ごとの介入件数や関わり方についても分析を行うことで、臨床心理士が介入を行う意義や今後の課題についても考察を加える。

### 4. 研究方法

2016年度に臨床心理士が介入を行った対象患者の情報についてまとめた独自のデータを元に、介入件数やその内訳の集計を行う。また、介入方法や他職種との連携の有無といった視点からもデータの分析を行う。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、通院・入院時の症状、通院・入院中の経過、臨床心理士の介入の詳細（継続面接、短期的介入など）等

## 6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 7. 研究組織

本学単独研究

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院、TEL:022-717-7642、担当者 診療技術部 リハビリテーション部門 臨床心理士 伊藤 麻里

研究責任者：東北大学病院 産科学婦人科学講座 西郡 秀和

### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合